

『On the line』

◎登場人物

・美樹
・健
・マヨ

線路に沿って家路を辿る美樹。美樹は重度の弱視で、いまはほとんど視力がない。

そんな美樹を追いかけるようにして、健がやってくる。健は美樹に密かな恋心を抱いている。

マヨ、線路の上に横たわり、寝入っている。

健は、ゆっくりと歩いている美樹に近づく。

健 (美樹の肩に手を置き) 美樹。

美樹 (健の手を振り払うように) キヤツ！ 何！

健 あ、ごめん。

美樹 ……ああ、健ちゃん？

健 ごめん、驚かすつもりはなかったんだ。

美樹 もう……何？

健 何って……(地面を指差し) 線路。

美樹 うん。

健 危ないよ？

美樹 え？ 何言ってるの？

健 だから、線路の上歩いてたら、危ないよ。(車のハンドルを操作する手振り) 家まで送ってくから。乗ってけよ。

美樹 いいよ、おんぶなんて恥ずかしい。

健 いや、おんぶじゃないよ。車だよ車。

美樹 いいよ別に。この線路辿ってけばすぐだし……え？ わざわざそ

んなこと言う為に追いかけてきたの？

健 そんなことって！ もしも電車が走って来たらどうするんだよ？

美樹 どうするって、よけるに決まってるじゃない！ バカじゃないの？

健 そうだけど、でも……。

美樹 でも何？ 何が言いたいなの？ 私は、走ってくる電車も避けられな

い、そう言いたいわけ？

健 いや、そういうわけじゃ……。

美樹 確かに、私の目は病気よ。他の人に比べたらかなり見えにくいけど。

でもね、電車も避けきれない程見えてないわけじゃありません。

健 でも……最近ちよつと心配なんだよ。身体中あちこちに擦り傷とか

打撲とかつくってるし。もしかして、よけいに見えなくなってるん

じゃないか？ だから、何度もつまずいたりぶつかったりしてるんじ

やないか？。

美樹 ちがうよ……最近、ボクシング始めたの。

健 嘘！

美樹 本当よ！(下手くそなシャドーボクシングをしながら) ほら、見なさい。

健、黙って軽いパンチを繰り返す。

美樹、健のパンチをまんまと喰らい、よろける。

美樹 (殴られた頬を押さえ) 女子を殴るなんて！

健 ごめんごめん！ 避けるかと……もしかして、いまのパンチ見えな

かったの？

美樹 え……そんなわけじゃない。わざと当たってあげたのよ。

健 本当に？

美樹 当たり前でしょ！ 素人相手に本気出してもしょうがないじゃな

い！

健 本当かよ！ それにさ、仕事でも、なんでもないミスばかりして。皆心配してるんだよ、最近の美樹の様子。

美樹 それは・・・たぶん、パンチ貰い過ぎて脳震盪起こしてるだけよ。

健 辞めるよボクシング！ 危ないだろ！ それに、目にも良くないし！

美樹 なんて健ちゃんに指図されなきゃなんないのよ！ 健ちゃんは私の何なわけ？

健 俺は美樹の為を思ってる！

美樹 なに？ 同情してるわけ？ 私が病気だから？ 目があまり見えないから？ 可哀想に思ってる、優しくしてるんだ・・・。

健 別にそういうわけじゃ。

美樹 そうじゃない！ 皆そうよ！ 私の目がちよつと悪いからって、腫れ物に触るように扱ってさ。そうやって気を遣われるのが、私は一番

嫌なの！

健 気を遣ってるとかじゃないよ。美樹の手助けをしたくて。

美樹 それなら、私に何も言わないでよ！ 何もできない人みたいに扱わないでよ！ ただ目が悪いだけじゃない！

健 別にそういうつもりじゃ・・・

美樹 そういうつもりよ！ 私の目が病気で見えにくいからって、何にも気付いてないでも思ってるの？ 全部分かってんだから！ 全部

見えてんだから！

健 ごめん・・・。

美樹 ・・・・歩いて帰るから。

健 でも・・・。

美樹 ほら！ 私は、自分の足で家に帰りたいのに、それすらさせてくれないの？ 健ちゃんには、私はそんなこともできない人間に映ってるんでしょ？

健 ごめん・・・。

美樹 同情なんていららないんだから！

美樹、健に背を向け歩き出す。

健、ゆっくりと振り返り佇んでいる。

美樹、歩いているとつまずいて転んでしまう。

美樹 キヤッ！

と、その転んだ先にマヨが寝そべっていて、クッションとなる。

マヨ ウツ！（うめき声）

美樹とマヨ、地べたで抱き合うような形になっている。

美樹 なにこれ。柔らかくてあったかい・・・。

健、背を向けたまま喋りだす。

健 同情なんかじゃないよ！

健、勢い良く振り返る。

健 美樹のことが好きだか・・・（美樹とマヨが抱き合っているのに気がつき、そのショックで過呼吸になる）

マヨ あの・・・。

美樹 （驚いて起き上がりながら）キヤッ！ 喋った！

マヨ （起き上がりながら）・・・なんでしょう？

美樹 あ・・・すいません。人間だと思わなくて。

マヨ どういう意味ですか？

美樹 あ、ごめんなさい・・・私、男の人の身体にこういうふうに触れた

ことがなくて・・・思ってたよりも、ずっと暖かいんですね。

健 み、み、みみみ、美樹！ な、なな、な、何してるんだ！ だだ、だ、

だだ、だ、誰だこの男は！

美樹 健ちゃん。まだいたわけ？

健 (マヨに気付き) あ！ お前、ダートテイルックスってバンドの、デ

ブの方じゃねえか！

マヨ・・・デブではない。

健 てめえ、美樹に何してんだよ！

美樹 やめてよ、健ちゃん！

健 美樹、お前なんでこんなブサイクと抱き合ってたんだよ。

マヨ ブサイクではない。

美樹 別に健ちゃんには関係ないでしょ！

健 関係あるよ！・・・まさか・・・美樹、お前、とうとう目が見えな

くなっただんじや！

美樹 なわけないでしょ！ 何言ってるのよ！

健 じゃなきゃこんなブサイクと・・・。

マヨ だからブサイクじゃない。

美樹 やめてよ健ちゃん！ さっきからブサイクブサイクって！ もう

どっか行ってよ！

健 美樹・・・。

美樹 結局健ちゃんはさ、目に見えるものには興味がないんだよ！ 本

当はもつと大事なものがあるのに！ 目に見えるものだけがすべて

じゃないのに！

間

美樹 もう帰ってよ。

健 美樹・・・。

美樹 もう顔も見たくない。

健・・・ごめん。

健、ゆつくりと去って行く。

間

マヨ あの・・・。

美樹 はい？

マヨ 電車来ましたけど。

美樹 え？

マヨ あ、電車来たら伝えないといけないルールなので。

美樹 は？

マヨ どうします？

美樹 避けます。

マヨ わかりました。

マヨ、一人だけ線路から避け、線路上であたふたしてる美樹を
見ている。

マヨ 避けたいんですか？

美樹 避けたいです！

マヨ なぜ避けたいんですか？

美樹 ほとんど見えないんです！ 助けてもらってもいいですか？

マヨ 別にいいですけど。

マヨ、美樹の手を引いて線路から引っぱり下ろす。

美樹 あのこと。

マヨ はい。

美樹 ……この手、しばらく繋いでてもいいですか？

マヨ ……まあ、どっちでもいいけど。

照明 F・O
了